



“楽しい” 雪の日の登校（1月18日 中央小前にて）

議会だより

No. 121

はさみ

平成25年 2月号

《長崎県波佐見町議会》

- 12月定例会
平成24年度 一般会計補正予算ほか 2~4P
- 委員会報告
所管事務調査報告 5P
- 一般質問
7人が政策を問う 6~9P

1億8600万円を
追加し

総額

55億4800万円に!

第4回12月定例会は、12月11日招集され、会期を4日間と定め開催された。議長より諸般の報告、及び町長より議案の提案要旨の説明後、24請願第2号の産業厚生委員会への付託決議がなされ、引き続き議員発議第5号を可決した。町提出の一般会計補正予算(第3号)をはじめとする議案11件、ほか議員発議2件を慎重審議した結果、いずれも原案どおり可決した。また、一般質問は7人の議員が政策を問うた。

主な収入(増額分)

町民税	200万円
固定資産税	500万円
町たばこ税	400万円
地方交付税	800万円
民生費負担金	158万円
民生費国庫負担金	1944万円
教育費国庫補助金	3370万円
民生費県負担金	1149万円
農林水産費県補助金	532万円
災害復旧費県補助金	518万円
財政調整基金繰入金	1400万円
雑入(物件移転補償金他)	724万円
町債・教育債	6740万円
・災害復旧事業債	160万円

主な支出(追加・増額分)

電算管理費	237万円
地域情報化管理費	435万円
国保会計繰り出し金	1155万円
養護老人ホーム入所措置委託料	1254万円
介護給付費・訓練等給付委託料	3933万円
4種混合ワクチン接種委託料	179万円
県道整備事業費負担金	366万円
東小学校施設移転補償等工事費	500万円
東小学校施設整備費	9961万円
農林業施設災害復旧費	439万円

特別会計補正予算

区分	補正額	補正後の総額	備考
国民健康保険事業(第2号)	1145万円	17億9207万円	予備費の増など
町営工業団地整備事業(第1号)	306万円	2億3638万円	造成費の増など
公共下水道事業(第2号)	△59万円	4億1633万円	管理費の減など

条例の制定

●波佐見町基本構想の議会の議決に関する条例

〈制定理由〉

町行政の総合的かつ計画的な運営を図るための指針となる「基本構想」が、地方自治法の改正に伴い、市町村の義務規定が撤廃された。

しかし、基本構想は、団体の意思決定を明らかにし、策定することが望ましいことから、議会の議決事件とするため、条例を制定するもの。

●波佐見町公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例

〈制定理由〉

地域主権一括法の公布により、下水道法の一部改正に伴い、構造の技術上の基準等を条例で定めるようになったため、条例を制定するもの。

●波佐見町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

〈制定理由〉

地域主権一括法の公布により、水道法の一部改正に伴い、工事監督者の配置基準及び資格基準、技術管理者の資格基準を条例で定めるようになったため、条例を制定するもの。

条例の一部改正

●波佐見町税条例

〈改正理由〉

波佐見町企業立地促進条例の改正に伴い、固定資産税の減免条項の一部を改正するもの。

●波佐見町福祉医療費の支給に関する条例

〈改正理由〉

障害者自立支援法の名称が、障害者の日常生活及び社会生活の総合的に支援するための法律に改められたため、条文の一部を改正するもの。

●波佐見町公共下水道条例

〈改正理由〉

下水道法施工令の一部改正に伴い、下水道の排除基準が変更されたため、条文の一部を改正するもの。

規約の一部改正

●長崎県後期高齢者医療広域連合規約

〈改正理由〉

住民基本台帳法の一部改正と外国人登録法の廃止に伴い、規約の一部を改正するため、議会の議決を行ったもの。

議 員 発 議

●企業誘致雇用対策特別委員会の設置に関する決議

〈発議内容〉

企業誘致と誘致した企業等への雇用を促進するため、特別委員会を設置するもの。

委員の定数6名 委員長 松添 一道 ・ 副委員長 大久保 進

委 員 今井 泰照 ・ 太田 一彦 ・ 藤川 法男 ・ 尾上 和孝

●波佐見町議会委員会条例の一部を改正する条例について

〈発議内容〉

地方自治法の改正に伴い、委員の選任等に関する事項の条項を加え改正したもの。

●波佐見町議会会議規則の一部を改正する規則について

〈発議内容〉

地方自治法の改正に伴い、所要の改正を行ったもの。

請 願 第 2 号

件 名：町道八島田ノ頭線改修工事の早期計画と着工について
(八島交差点～田ノ頭郷ナフコ交差点の区間)

請願者：田ノ頭郷自治会長 黒崎 一幸 ・ 宿郷自治会長 堀江 係市
平成24年11月14日提出

○本件の取り扱いについては、産業厚生委員会へ付託された。

主な賛否表

○賛成 ●反対

議案番号	議 案	議決の 結 果	表 決 数 賛成:反対	議 席 番 号													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
70	平成24年度波佐見町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	平成24年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	平成24年度波佐見町営工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	平成24年度波佐見町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	波佐見町基本構想の議会の議決に関する条例	原案可決	11：2	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
77	波佐見町税条例の一部を改正する条例	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	波佐見町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議5	企業誘致雇用対策特別委員会の設置に関する決議	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議6	波佐見町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議7	波佐見町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	13：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

常任委員会

所管事務調査報告

総務文教委員会

◎小中学校施設及び学校運営状況の調査について

〔11月20日開催〕

〈施設の調査結果〉

【東小学校】

- ・校舎外壁の腐食及び剥がれ落ち
- ・放送室の床じゅうたんの劣化
- ・音楽室の床じゅうたんの破れほか

【中央小学校】

- ・施設に特に問題なし

【南小学校】

- ・体育館横の浄化槽周りの安全確保のため、改善する必要がある。

【中学校】

- ・24年度、校舎の内壁・外壁塗装、体育館の大規模改修が完了したが、引き続き弘道館及び駐輪場、Lし教室などの改修要望があった。

〈まとめ〉

今回の調査により、学校施設において、それぞれ未整備箇所はあるものの、緊急性を要する箇所から予算状況を考慮したうえで、整備が進められていた。今後も優先順位を考慮して計画を進められることを望む。

また、各学校の運営状況については、それぞれの学校で種々の問題を抱えていたが、解決に向け取り組み、具体的に行動されている印象を受けた。

今後、学校における子ども達の実態を把握し、現場の「生の声」を聞けるような機会を持つよう、考えていかなければならない。

また、より子ども達に安全・安心な学校生活と、公平な教育が受けられるような取り組みが望まれる。

さらに、「保護者、教員、地域みんな育てる」という意識と行動を図っていかなければならない。

産業厚生委員会

◎前産業厚生委員会の反省について

〔11月14日開催〕

〈窯業の振興〉

各種団体との懇談会を行い、現状を把握し、特に生地組合や石膏型組合・上絵組合との懇談の場を早急に設ける必要がある。

〈農業の振興〉

法人化された村木峠百笑会の将来性や、法人化に向けた集落営農組合9団体との懇談の場が必要である。

〈まとめ〉

これまでの所管担当の説明を受ける委員会から月1〜2回程度必要に応じて開催日を増して、政策提案ができる委員会を目指す。

また、地場産業の窯業・農業については、現状を知るために各種団体との懇談会を計画する。

企業誘致調査特別委員会については、全員協議会に委員会として提案する。

◎産業の振興について

〔11月21日開催〕

〈窯業の振興〉

町の補助を受け運営している波佐見焼振興会は、事務費と事業費が一部わかりにくい点があるので、引き続き調査する。

県より2600万円の補助を受けたブランド確立事業「おうちの器事業」は、県の販売戦略課が事業展開し、町も企画参加している。各窯元・商家が製作し、デパートなどで展示販売や消費者ニーズの把握に努めている。

この件については、今後さらに調査する必要がある。

〈後継者育成事業〉

「やきもの教室」のように、機械ロクロや鋳込み技術など、習得できる取り組みが必要であり、その中で、産業としての技術者を育てるべきである。

〈まとめ〉

窯元出荷額においては、平成3年のピーク時の4分の1に減少している。

東京ドームテーブルウェア・フェスティバルは、波佐見焼のブランド確立・知名度アップに大きな役割を果たしている。次年度からの県の支援減が予想されるため、町と窯業界が一体となり支援継続の陳情をするべきである。

後継者問題としては、各種団体との懇談会の場を設け、現状把握に努め対策を協議する必要がある。

●町職員の人材育成と活性化は
●陶郷中尾山の再整備計画を

古川 千秋 議員



問 総合計画の策定にあたって、住民福祉の向上に寄与する人材を育成し、資質向上を図り、職員の活性化をどう図るのか。

町長 各種研修などに参加し、知識と技能を習得するとともに、他自治体職員との交流も深め見聞を広めている。また、毎月の朝礼の実施、各種イベントへの参加、新人職員を対象とした町内史跡巡り研修や自衛隊入隊研修を実施。さらに、定期的なヒアリングなどを

行い、円滑な業務の推進と資質の向上、意識改革、人材育成などに努めていく方針である。

問 中尾山は、波佐見焼の歴史と焼き物づくりを「見えて・触れて・感じ・知る」といううえで欠かすことのできないところ。今後、さらに多くの方が訪れることが見込まれるので、郷と町が協働して受入施設などの整備に取り組めないか。

町長 当面、伝習館や空き家を活用した対策を優先し、

地域の機運が高まれば若者居住地の整備など検討したい。また、公衆トイレの設置は、現在進められている「中尾上登窯跡」の整備動向を見極め、地元と一体となって協議を進めたい。

公共下水道の整備は、費用対効果の観点などから現実的に難しいので、当面は小型合併処理浄化槽の活用を推進したい。



整備が進む中尾上登窯跡

●長引く不況下
経済の活性化と
雇用を生む政策を

松尾 道代 議員



問 現在、工業団地の建設、企業誘致などで雇用対策が進められているが、離職者からは不安の声が大きく聞こえる。緊急雇用の継続や新たな雇用、さらに公共工事の前倒しなどで、局面を切り切らなければならぬほどの冷え込みと考えるがどうか。

町長 長崎キャノンの操業や10社ほどの関連企業の進出、ミニポートピア長崎・波佐見や、はさみ温泉湯治楼などの開業で、明るい兆

しが見え多くの雇用の創出が図られた。

窯業では多種多様な新商品開発への努力で、元気ある産地と高く評価されている。町営工業団地の3月完成に向け、1日も早く企業の誘致を図り、雇用の拡大を図りたい。また、町道整備などの公共事業を財政の許す限り速やかに進める。

緊急雇用の継続は、町単独では財政的には大変難しい。

問 経済の活性化に、住宅リフォーム奨励金はどうか。佐世保市では大きな経済効果があったと聞くがどうか。

町長 施工数が多くなれば地域の活性化につながるかと予想されるが、今年度から定住奨励金を実施しており、財源の問題などで現段階では困難な状況である。

問 若年離職者の臨時雇用の場として、シルバー人材センターの活用はどうか。

登録年齢を下げることはできないか。

町長 50歳以下の方でもシルバー人材センターは受け入れているのではと思う。若い人には、一時的な形の中で、本来の就職ができるまで、このような場が欲しいと思っている。

その他の質問
予約制乗り合いタクシーの運行方法の転換について質問を行った。

- どうなる、生活環境向上対策
- 合併浄化槽
補助金の上乗せは



百武 辰美 議員

問 住宅リフォームに対する助成制度が、多くの市町で実施されている。本町で取り組む考えはどうか。

町長 定住人口の拡大や活性化を図るため、定住奨励金制度を創設し、平成24年度から実施している。リフォームに対する助成制度は財政的な問題などもあり、現段階では困難な状況である。

問 自然エネルギーの活用として、庁舎にも太陽光発電設備が設置されている。

町長 住宅リフォームに対する助成制度の導入はどうか。

町長 定住促進の一環として、検討項目の一つに位置づけていたが、財源は限られている。今後検討していきたい。

問 公共下水道の全体計画が見直され、小樽・三股地区が全体計画から除外された。これらの地域を含め、計画区域外の水洗化を促進するために、浄化槽補助金の上乗せが必要であると思われる。また、生活排水路

の整備も別途必要であると思われるがどうか。

町長 補助金の上乗せとなり当然町単独の財源となる。浄化槽充実を図り、水洗化を促進しなければならぬことは十分認識しているが、財政負担の問題もあるので、今後十分に検討していく。

また、生活排水路の整備については、地元関係者による側溝や排水工事に対し、町単独の補助制度があるので、補助条件を確認のうえ、活用願いたい。



自然エネルギーを活用した太陽光発電設備

- 出来るのか農産物の拡大
- 陶磁器産業の支援は充分か



藤川 法男 議員

問 本町も農産物を産地化するためには、中・長期的な視野から、2品目位に絞れないか。

町長 現在、県の新規作物助成事業で、抑制かぼちゃ、ばれいしよ、プロッコリーなど栽培し、市場価格も安定しており有望と考える。

問 市場とのパイプ役として物産流通の経験者を雇用し、販売に活路を見出せないか。

町長 流通経験者を各作物

部会や認定農業者、集落営農など、研修会に講師として招くことは可能だ。これから先進事例の調査や研究などを進め、情報収集に努めたい。

問 陶磁器製造業は、市場ニーズにいかに対応するかで、将来を担う学生との交流（窯元民泊）なども重要と思う。また、東京ドームテーブルウェア・フェスティバルの展示支援に対する減額なども予想されるため、町の全面支援が必要である。

さらに、加えて、名古屋ドームや仙台のやきものフェアなどの支援はどうか。

町長 陶芸を志す学生などの交流は、各組合とのヒアリングでも意見があり、実施主体や受け入れ体制の整備が図られた折には、行政として支援も考える。

東京ドームの事業は、平成25年度で切れるため、県推進本部会議で、継続支援や新規事業の支援を強く要望した。

仙台のやきものフェア



新商品をアピールする波佐見焼コーナー(東京ドームにて)

は、3年程度の支援を考えている。

- コンビニで住民票の発行を
- 波佐見・有田インターチェンジ駐車場の有料化は



尾上 和孝 議員

問 本町も、コンビニエンス・ストアで、住民票などの証明書を、取得できるシステムを取り入れることはできないか。

町長 住民サービスの向上としては有意義なシステムだが、改修費に多額な費用がかかり、費用対効果からも実施は厳しい。

問 波佐見有田インターチェンジ駐車場は、高速バス利用者以外にも集合場所などの利用がなされている。混雑防止や収入からみて

も有料化すべきと考えるがどうか。

町長 駐車状況を分析し、公有地の有効利用や波佐見陶器まつりでの第2会場としての利用も考慮に入れ、駐車場有料化への取り組みを進めたい。

問 他の自治体では、フェリスブックなどを使って情報を公開し、コミュニケーションを図っている。本町でも取り組めないか。

町長 フェリスブックは住民からの問い合わせなどに



有料化が望まれる波佐見・有田ICの駐車場

- 原子力災害への対応は
- 21世紀を波佐見焼の時代へ



太田 一彦 議員

問 玄海原発で原子力災害が発生した場合、本町はどのように対応されるのか。

町長 原子力発電所及び国から事故発生後、直ちに県へ連絡が入る。県は、県内各市町をはじめ県警・消防、自衛隊などの関係機関に、一斉指令システムにより通報がなされる体制となっている。

これを受け、本町は事故の状況に応じ、警戒本部、災害対策本部を直ちに設置する。その後、事故の状況

や避難指示の内容について、デジタル防災行政無線、緊急防災メール、町ホームページ防災情報などを通して住民へ知らせる。

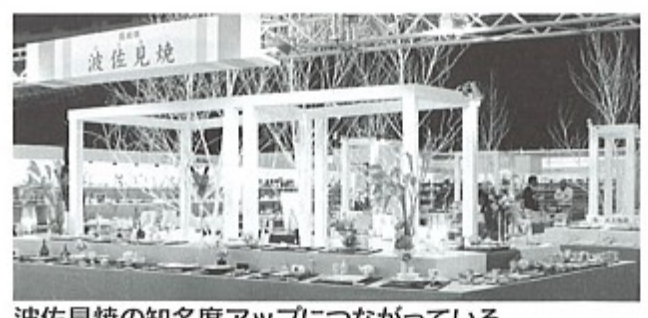
なお、県は、放射線測定器などを含めた原子力防災資機材を整備する計画であり、本町へも配備されると聞いている。

問 窯業振興策として、肥前の国（地域）は歴史的に19世紀までは伊万里焼の時代、20世紀は有田焼の時代、21世紀は「波佐見焼の

時代に！」を掲げて、県に支援を提案できないか。

町長 波佐見焼のビジョンは、官・民が一緒になった共通認識を持たなければならぬ。今、その思いを持ち、協議を行っている。

21世紀は「波佐見焼の時代に！」というようなインパクトのある提案があれば参考になりたい。



波佐見焼の知名度アップにつながっている東京ドームテーブルウェア・フェスティバル

●病児・病後児保育を
基本構想へ取り入れよ



中村 與弘 議員

問 近隣市町では子育て支援センターなどを立ち上げられているが、本町の考えはどうか。特に、本町の病児・病後児の実態調査を含め、福祉保健の面からの対応はどうなっているか。

住民福祉課長 県内の病児・病後児保育施設は、小児科に設置されている所が多い。福祉センターの取り組みがされている場合もあるので研究したい。

県内では佐世保市が多く、4小児科が取り組んでいる。

病院側も病児・病後児保育というのは経費がかかり、進んでいない状況である。国の政策では、保育所に設置する場合の補助はない。病院に設置する場合、医療関係の補助という制度がある。

問 本町において定住策などを模索されているが、「住みよい町・住んでみたい町」へと対策を早く取られたいと思う。第5次の基本構想、9次の基本計画に取り入れられないか。

町長 基本構想には取り入れて良いと思うが、諸条件を整えるための準備をしなければできない。ある面では、設置規模の問題、病院や医師の理解を得なければいけない。

資料 病児・病後児保育事業とは
病院・保育所などにおいて病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応などを行うことで、安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図る。

議員活動

- | | | | |
|-------|-----------------------------|--------|--------------------|
| 11月4日 | はさみ炎まつりめし碗グランプリ表彰式 | 12月12日 | 議会広報調査特別委員会 |
| 5日 | 波佐見少年剣道大会 | 20日 | 総務文教委員会 |
| 7日 | 平成24年第5回議会臨時会 | 21日 | 議会運営委員会 |
| 5日 | 波佐見町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会 | 22日 | 東彼地区保健福祉組合定例会(川棚町) |
| 9日 | 東彼杵郡議会議長会臨時総会 | 23日 | 産業厚生委員会 |
| 11日 | 東彼杵村議会議長会・研修会及び知事との懇談会(長崎市) | 25日 | 波佐見町成人式 |
| 11日 | 東京波佐見会郷寄り総会(東京都) | 27日 | 波佐見町消防出初め式 |
| 12日 | 身体障害者福祉会レクレーションスポーツ大会 | 28日 | 波佐見焼新春展示販売会 |
| 14日 | 東彼地区保健福祉組合臨時議会(川棚町) | 30日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 15日 | 県選出国会議員への陳情(東京都) | 1月3日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 16日 | 第56回町村議会議長全国大会(東京都) | 4日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 20日 | 産業厚生委員会 | 6日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 21日 | 全員協議会 | 10日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 22日 | 新人議員研修会(～19日) | 11日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 23日 | 総務文教委員会 | 12日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 25日 | 東彼地区保健福祉組合施設視察(川棚町・東彼杵町) | 13日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 27日 | 産業厚生委員会 | 14日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 28日 | 東彼杵郡内議員研修会(東彼杵町) | 15日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11月4日 | 町民表彰式 | 16日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11日 | はさみ林道マラソン大会 | 17日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11日 | 議会運営委員会 | 18日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11日 | 県北振興局への要望活動(佐世保市) | 19日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11日 | 議会運営委員会 | 20日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11日 | 平成24年第4回議会定例会(～14日) | 21日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |
| 11日 | 議会運営委員会 | 22日 | 波佐見町建設振興会懇談会 |



11月22日 東彼杵郡内議員研修会

私もひとこと



議会に望むこと

湯無田郷 福田 洋吉

先の町議会議員選挙で当選された議員の皆さん、おめでとございます。ご活躍を期待します。

さて、皆さんは選挙期間中に、訴えてこられたスローガンについては、少しでも実現できるような努力をしておられますか。本町を理想的な町に近づけるには、議会・議員はどうあるべきかを常に考えておくべきであり、先を見据えた政策論議を展開していただくことを望みます。

今期から議員定数も2人減の14人の少数精鋭となり、議員活動も広範囲と多忙をきわめることとなります。初心忘れることなく、15,200人の町民生活が少しでも改善されるように、町の隅々まで大きく目を見開き、耳を傾け、心遣いを忘れない議会であってほしいと思います。

今後、町営工業団地への企業の誘致、町営住宅小石原団地の建て替え、役場庁舎の建て替え、基幹産業の窯業・農業の振興対策、少子高齢化社会による介護・高齢者医療対策、学校区の問題など、重要な課題が山積しており、議会人としての力量が試される時でもあります。住民の付託に応えるためには、徹底した調査研究と迅速で正確な情報収集が必要であります。

このことに率直に取り組み、波佐見町議会議員としての誇りと責任を常に忘れず、前向きの強い気持ちで頑張ってください。

さらに、各定例会では、町民のための建設的な提言をされることを願っております。議員皆さんのご健康とご活躍を心からお祈りします。

平成25年第1回定例会は **3月上旬** からの予定です
平成25年度予算などを審議する定例会となりますので、
多数の方の傍聴をお待ちしています。

No.120号の記事に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

3ページ	総務文教委員会 委員	中尾法男	→ (正) 中尾豊行
5ページ	公共下水道事業特別会計	3858万3千円を追加	→ (正) 3858万3千円を減額
7ページ	県道1号線飛瀬～村木線	平成25年3月完成予定	→ (正) 平成26年3月完成予定
	町道南部線	平成25年3月完成予定	→ (正) 平成28年3月完成予定

編集後記

先の衆議院選挙で誕生した新政権には、国民生活を最優先に景気回復をはじめ、安定した政権運営を期待したいと思います。

今度の「議会だより」121号は、町議改選後初めての発行となります。今回から定数が2名減となつて、議員の平均年齢も改選前は63・7歳、今回は60・7歳となり、3歳ほど若返りました。

「議会だより」を担当します議会広報調査特別委員会のメンバーも一新されました。わかりやすく、より親しまれる広報紙編集に努め、皆様に身近な「議会だより」として発行してまいりたいと思います。

今後ともご愛読のほどよろしくお願ひします。



議長 川田 保則
議会広報調査特別委員会
委員長 古川 千秋
副委員長 藤川 法男
委員 石上 和孝
中尾 尊実
百武 辰美